

表1 佐伯湾赤潮プランクトン調査結果					令和8年度9月8日			単位:細胞数/ml	
採集地点	調査時間	水深 (m)	水温 (℃)	塩分 (PSU)	DO (mg/l)	シャットネラ sp.	カレニア ・ミキモイ	ヘテロシガマ ・アカシオ	マーガレフィディニウム (旧)コクロディニウム ホリクリコイテス
1. 夏井沖	9:09	0	25.1	33.62	6.4	0	0	0	0
		5	25.1	33.64	6.5	0	0	0	0
		15	25.1	33.66	6.5	0	0	0	0
		25	25.0	33.66	6.1	0	0	0	0
		35	25.0	33.73	6.1	0	0	0	0
		41.4	24.9	33.78	5.5	0	0	0	0
2. 長田沖					-				
3. 片白島					-				
4. 小田代					-				
5. 沖松浦漁港					-				
6. 鶴見振興局裏					-				
7. 鶴見ボンツーン	10:00	0	24.8	22.74	7.5	10	0	0	0
		2	25.6	32.93	6.6	6	0	0	0
		5	25.4	33.47	5.6	0	0	0	0
		10	25.2	33.54	6.1	0	0	0	0
		11.7	25.2	33.59	6.0	0	0	0	0
		12.7	25.2	33.59	5.8	0	0	0	0
8. 石間					-				
9. 霞ヶ浦	9:42	0	26.0	33.03	7.0	46	0	0	0
		2	26.1	33.49	6.4	4	0	0	0
10. 守後					-				
11. 片神	9:28	0	25.6	32.43	7.0	2	0	0	0
		4	25.8	33.58	6.6	1	0	0	0
12. 片神～彦島					-				
13. 水試前					-				

※0mの水温・塩分・DOはクロロテックの0.5mの測定データによる

参考:赤潮注意・警戒密度(単位:細胞数/ml)		
赤潮プランクトン	注意密度	警戒密度
シャットネラsp.	10以上	100以上
ヘテロシガマ・アカシオ	5000以上	50000以上
カレニア・ミキモイ	200以上	2000以上
マーガレフィディニウム(旧)コクロディニウム・ホリクリコイテス	30以上	300以上

- * 警戒密度は漁業被害が想定される密度です。
- * アラビ、ササエ等ではカレニア・ミキモイで100～200細胞/mlで斃死する可能性があります。
- * マグロに関しては、赤潮注意・警戒密度に1/10を乗じた細胞密度とします。

連絡事項

有害プランクトンのシャットネラsp.が確認されました。

7鶴見ボンツーンと9霞ヶ浦では、シャットネラsp.が注意密度以上で確認されています。

今後の細胞密度の推移にご注意ください。

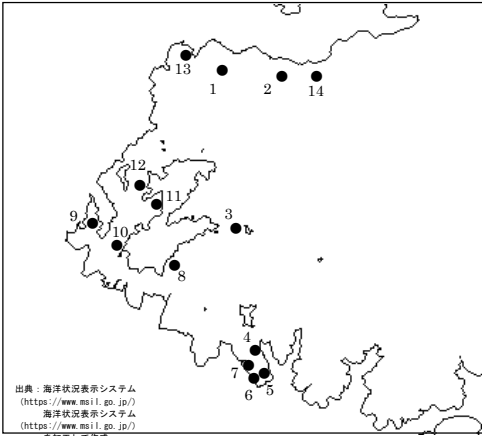


図. 調査定点図